

目 的

宣教対象である近代社会について考えます

内 容

現代社会についての理解を深める。特に時代背景となる基本的な考え方やそれを作り出す社会状況を学びます。

予 定

- ① オリエンテーション/宣教学について 「神の支配」モデル
- ② プレ・モダニズム 概観 氏族制度と封建制度
- ③ モダニズム 1 個人・自由・平等
- ④ モダニズム 2 近代国家/国民概念
- ⑤ 資本主義 1 商品・貨幣・資本/社会形成
- ⑥ 資本主義 2 資本主義の影響/資本主義とキリスト教会
- ⑦ ポストモダニズム 1 関係性 (相対性と多様化)
- ⑧ ポストモダニズム 2 宣教的意義
- ⑨ 原理主義とエキュメニカル
- ⑩ 聖/差別 1 聖書からの理解
- ⑪ 聖/差別 2 この世界の理解
- ⑫ キリスト教と他宗教との関係
- ⑬ 日本社会について 天皇制の課題
- ⑭ 近代における宣教の可能性
- ⑮ 予備

評価

1. 講義中に出されるアサイメント
2. レポート

以下の課題の各グループ A, B から 1 題を選び, 指定された期日に提出してください。E-mail (添付) で送付してください。

A.

- ① 新約聖書が考える、個人と共同体 (教会) との理想的な関係について述べてください
- ② 近代主義が戦争に与えた影響を記してください
- ③ 商品経済と近代的個人主義との関係を述べてください

B.

- ① 資本主義におけるキリスト教会の宣教の内容について述べてください
- ② キリスト教会の他宗教に対する関係のあり方を述べてください

③ 聖書における「差別」の例を挙げ、現代における取扱いについて述べてください

★各レポートA4, 5枚以内でお願いします。

★各課題の扱う範囲は広いですから、一般的な課題として検討して下さっても結構ですし、その課題に関わる具体的な問題（聖書箇所、教会現場での出来事、あるいはご自分の問題意識など）を取り上げて下さっても結構です。

★評価について

減点法で行います。評価基準は、①論理的に論述されているかどうか ②内容に見合った構成であるかどうか ③自らの意見として提示できているかどうか この3点を中心とします。

学生の方々の意見をまとめることが課題レポートの趣旨になっています。従って、内容そのものへの意見を応答として講師が述べることはあると思いますが、内容について講師と意見が違っているからと言って減点にはなりません。逆に講師と同じ意見であっても、以上の評価に照らして減点することがあります。論述された内容をご自分のものとして理解し、それをレポートできているかどうか、この2点が重要だと考えています。

2. 課題図書 以下のリストから図書を選び、内容分析と批評を行ってください

A4で4枚以内

3回

課題図書（順不同）

小熊英二「社会を変えるには」講談社 2012

亀田達也「モラルの起源 実験社会学からの問い」岩波書店 2017

臼杵陽「原理主義」岩波書店 1999

本田哲郎「小さくされた者の側に立つ神」新世社 1990

高橋哲哉「反哲学入門」白澤社 2004

高橋哲哉「犠牲のシステム 福島・沖縄」集英社 2012

野中広務 辛淑玉「差別と日本人」角川書店 2009

スベトラート・アレクシエービッチ「チェルノブイリの祈り 未来の物語」岩波書店 2011

J.H.ヨルダー「愛する人が襲われたら？非暴力平和主義の回答」新教出版社 1998

的場昭弘 「一週間 de 資本論」NHK 出版 2010

的場昭弘 「マルクスだったらこう考えた」光文社 2004

姜尚中 「悪の力」集英社 2015

姜尚中 小森陽一「戦後日本は戦争をしてきた」角川書店 2007

三谷太一郎 「日本の近代とは何であったか 問題史的考察」岩波書店 2017

以上